

Der Wind

(風)

湘南日独協会

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan

事務局: 〒251-0025 藤沢市鵠沼石上1-1-1

江ノ電第2ビル7F

TEL: 0466-26-3028 FAX: 0466-27-5091

E-mail: jdgs@jcom.home.ne.jp http://jdgs-shonan.ciao.jp/

第17回定時総会開催

平成28年1月31日湘南アカデミアで開催されました。重要議案の「会則変更」第17条「会計年度は毎年4月1日からはじまり、翌年の3月31日をもって終了する」が承認され、本年4月より実施されます。このことにより、ドイツ語講座の会計年度とのずれによる複雑さを回避することが出来ることとなりました。

またこの変更により、本年1月より3月迄の3カ月間の特別な決算が必要となり、4月24日(日)13時湘南アカデミアにおいて第18回総会を開催致します。



役員に関しては、新たに高橋善彦氏(左写真)の理事就任、宮川新平氏の都合による退任が承認されました。

湘南日独協会は2年後の2018年には創立20周年を迎え、また付属混声合唱団「アムゼル」は同じく15周年を迎えます。4月には記念行事の準備を始める計画です。会員皆様のアイデアの提供とご協力をお願い申し上げます。

日独修好150年の歴史展のお知らせ



昨年、2015年7月佐倉市国立民俗歴史博物館で企画展示された歴史展の一部が現在横浜開港資料館で展示されています。期間は4月10日(日)迄となっています。

新入会員紹介

敬称略

川崎 健

棚橋 あこ

湘南日独協会の行事予定

■ Singen wir zusammen! 歌で楽しむドイツ語第37回

テーマ: Frühling (春)

日時 3月20日(日) 15:00~16:30

会場: 藤沢商工会館ミナパーク 5F 506号室

会費: ¥1,000

■ Schwatzerei am Stammtisch 第18回

日時 3月29日(火) 15:00~17:00

会場 藤沢商工会館ミナパーク ミーティングルーム 4

会費 1,000円

■ 3月例会 講演会

「日本料理の心と技術ー西洋料理とは何が違うかー」

講師 近藤元人氏 (創作和料理「近藤」店主)

鎌倉雪の下のお店のみならず、テレビ等でも活躍される著名な料理人です。

日時 3月27日(日) 13:30~16:30

会場 湘南アカデミア

会費 1,000円

講演会終了後懇親会(別料金)を予定しています

■ Singen wir zusammen! 歌で楽しむドイツ語第38回

日時 4月10日(日) 15:00~16:30

会場: 藤沢商工会館ミナパーク 5F 507号室

会費: ¥1,000

■ 4月例会 ケンペル・パーニー祭(箱根)参加

ドイツの植物学者、1600年代長崎のオランダ商館医師として来日、滞在中に商館長に随行、2度に亘り箱根を越え江戸参府を体験、帰国後「日本誌」を著し、広く欧州に日本を紹介したケンペルと、箱根を愛しケンペル著書序文を引用し石碑を建てた大正期の英国人貿易商パーニー両者を讃える祭りへ今年も参加します。

日時 4月17日(日) 雨天決行

会費 2,000円(式典、昼食代 交通費は別個人負担)

当日の行動プログラムの詳細は次頁に続きます。

会費納入のお願い: 会報に会費納入の振込用紙を同封しております。4月末までにお振り込み下さい

ケンペル・パーニー祭参加プログラム

8:20 JR 小田原駅改札口集合(会員関口氏、中村氏出迎え)(藤沢駅発 07:40-小田原駅着 08:15 または藤沢駅発 07:31 発-小田原駅着 08:02)

08:30 伊豆箱根バス 小田原発 約1時間後元箱根着
(料金 1,180 円)

09:30 受付場所 興福院境内(バス停元箱根から徒歩1分)

10:00 式典開始 ケンペル・パーニー碑前(受付場所から徒歩1分)

11:30 頃ケンペル関連の講演会 会場:元箱根公民館
(碑から徒歩約5分)

13:00 頃 立食懇親会 会場同上 (15:00 頃終了予定)

15:10 または 15:35 箱根登山バス始発バス停元箱根港
約1時間後小田原着(往路と利用バス会社、バス停
が異なるので注意)(料金 1,180 円)

照会は勝亦理事へお願いします (Tel 045-335-0334)

■Schwatzerei am Stammtisch 第18回

日時 4月26日(火) 15:00~17:00

会場 藤沢商工会館ミナパーク ミーティングルーム 4

会費 1,000 円

■第18回総会開催 と 映画会開催

会計年度の暦年から4月開始への変更に伴う、3月迄の
決算に関する総会を開催します。

日時 4月24日(日) 13時

会場 湘南アカデミア

☆

映画会 「男はつらいよ 寅次郎心の旅路」

ウィーンを舞台にまたまた寅次郎...

監事の西澤氏に解説を頂きます

■Schwatzerei am Stammtisch 第20回

日時 5月14日(土)

■Singen wir zusammen! 歌で楽しむドイツ語第39回

日時 5月22日(日)

■5月例会 講演会

「ドイツの難民政策から日本は何を学ぶか」

(時局講演会)

講師 黒川 剛氏 (元オーストリア大使)

日時 5月29日(日) 14:00~16:00

会場 湘南アカデミア

会費 1,000円

講演会終了後懇親会(別料金)を予定しております

■6月例会 演奏会

琴とヴァイオリンのアンサンブル

一和と洋とのコラボレーションをお楽しみくださいー

演奏 尾崎彩氏(琴)と会員松野美智子氏
(ヴァイオリン)

日時 6月26日(日) 14:30~16:30

会場 湘南アカデミア

会費 1,000円

演奏会終了後懇親会(別料金)を予定しております

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

1月例会 映画「未完成交響楽」鑑賞

会員 下條 泰生



総会の後の「未完成交響楽」映画
観賞会の感想をストーリーに流され
ることなく鑑賞の観点から気が付い
たことを書いてみたい。

この映画は、戦後間もなく見たので筋を殆ど忘れており、改めて鑑賞すると良く出来ている映画である。何故未完成かは、映画の後 NHK の「らららクラシック」の録画 DVD での謎ときと合わせ、またその後の懇親会でたまたま隣席のヨーゼフ・クライナー先生からのお話もあり、これにはここでは触れない。

西澤氏の解説によると、1823年作曲の未完成的交響曲の時代背景にはナポレオン戦争の戦後処理のため開催されたウィーン会議による正統主義を標榜する保守反動のウィーン体制確立がある。「歌は世につれ世は歌につれ」である。「未完成」のロ短調の第一主題のマイナーの旋律のメランコリックな孤独・絶望の現実性と第二主題のメジャーの旋律のト長調の甘い歓びの夢が織りなす調べは当時のシューベルトの心象を表すように思えてならない。この二つの主題を持つ「未完成」が今も日本人に愛されているのは、日本でのドイツの懐メロ No.1 「ただ一度だけ Das gibt's nur einmal」に流れる「喜びとそのはかなさ」の「無常」の響きと重なるからであろうか。映画冒頭の質屋のシーン、伯爵や男爵の質草名札から垣間見る何やら戦後の経済状況を伺わせる。ちなみにベートーベン作曲の「第九」の合唱曲「歓喜に寄す」の作詞(十八世紀末)は「シラーが質草が思ったより多くの対価を得たことでの喜びのあまりの興奮の産物」とは...大学第二外国語の先生に教わったが、今や「第九」は日本の歳末風景、合唱曲は EU の歌となりドイツの精神文化の汎世界性の一端を示すものと言える。

十九世紀前半オーストリア帝国はハンガリーをその版図(属国)に加えたこともあり、宮廷行事ーシューベルトの音楽会ーにもハンガリーの伯爵令嬢カロリーネもはるばる馬車で遅れば

せながらやってきて大失笑することで憤然としたシューベルトは音楽を中止する。この令嬢に扮するマルタ・エンゲルトは解説によれば本職はソプラノ歌手、その歌うところのシューベルトのセレナーデは絶唱。またホイリゲで踊るハンガリアンダンスは圧巻。ところで、シューベルトに手紙で結婚式への参列を促す書状の妹は、令嬢のブロンド(金髪)に対してブルーネット(褐色の髪)でハンガリー建国のマジャール民族の血筋を思わせる手の込んだ演出である。

映画で歌われる質屋の娘エミーから貰った「ゲーテ詩集」の「野バラ」を始め「菩提樹」「アベ・マリア」等の多くの歌曲は三十一歳という短くも満たされた人生とあいまって今でも日本人に愛され愛唱されている。

彼の生きた十九世紀前半のロマン主義の歌曲には「郷愁」(Heimweh ハイムベエ)と「憧憬」(Sehnsucht ゼーンズーヒト)が謳われているが、解説レジメ所載の漢詩「春夜落城聞笛」の起句「誰が家の笛声…」承「散らして春風に…」そして結句「何人が故国の情を…」に洋の東西を越えて通底するものがある。

映画で質屋の娘が音楽会中止の後宮廷楽長に迫り「貴方がたのお上品の灯かりは消えるがシューベルトの曲は決して消えない」と訴えるくだりにこそ「人生は短く芸術は長い」を高らかに歌う映画「未完成」の眼目がある。最後に敢えて付け加えると、シューベルトと恋仲となる令嬢との音楽教師のシーンで左右に振れるメトロノームがクローズアップされた。彼の令嬢への想いと「未完成」の二つの主題—メランコリーと飲癖—の調べの揺れを象徴していると同時に、演出にはないがドイツ民族の精神性の二つの揺れを思わざるを得ない。

☆☆☆☆☆☆☆☆

海上自衛隊護衛艦はたかぜ見学会

会員 藤野 満



護衛艦へのタラップを上る藤野氏

1月24日(日)12時に横須賀駅集合で、32名の会員が参加し、この冬1番の寒風吹くなか、自衛艦「はたかぜ」を見学しました。

日独協会の勝亦さんが窓口となり同じ湘南日独協会会員でもある護衛艦の花形職場の射撃担当の秋山友一、一等海曹のお世話で実現したものです。秋山さん、たつての願いとのことで秋山さんと同郷の相樂友和二等海曹も休みを返上して我々多数の見学者のお世話をさせて頂きました。秋山さんは「秋山真之とのご親戚ですか」との度々の質問を受けたとかで閉口されておられましたが、制服姿はまさに「戦艦三笠」に乗艦し日本の危機を救った明治の軍人を思い出さすものでした。



「はたかぜ」は戦時太平洋艦隊で活躍した「旗風」を初代として昭和61年(1986年)完工した3代目の「はたかぜ」。4600トンの護衛艦で23cm口径の大砲を前後に2門、SM-1という開発初期型のミサイル発射装置1基、3連魚雷発射管2基、ASROC 対潜ミサイル(米国製)1基に30ノットの速力を出すロールスロイス製のガスタービン4基計7.2万馬力を搭載しており、そのひとつひとつを詳細な説明つきで見学させていただきました。

また、すぐ隣にはアフリカのソマリア沖から戻ってきたばかりのイージス艦が停泊、イージス艦に搭載のミサイル発射装置は最新式のSM-3で射程がより長く、精度も一段と向上しているとのこと。ソマリア沖を通る船は年間2万隻あり、そのうち日本船は1600隻で、その3割がタンカーとのことですが、北はスエズ運河を通るため、ときには「飛鳥」のような客船も通過します。いわばここは欧州と日本を結ぶ航路の要であり、そこを通る船の乗組員や旅客の安全が守られ、どれだけ安心が得られているかはかり、知れません。



はたかぜのモデルシップが山口さんよりお二人へ贈呈されました

今もって昔の伝統的な海軍用語が使われている海上自衛隊では、主機関を「もとき」、雑巾掛けを「内舷マッチ」と呼んでいるとのこと。

規律は階級で守られており、階級を意識することは海上自衛隊でも重要な話ですが、どの階級の司令が乗艦しているか他の船からも認識できるように船橋のガラス窓に最高指揮官識標を表示しているのは印象的でした。

また、艦橋内に異なった色カバーがかかった椅子が2席あり、右舷側の赤席には艦長の一等海佐、左舷側の黄席は司令官の海将補が座るとの事。色で各々の階級を示し、赤より黄が上の階級で、ちなみに赤の下は青とのことでした。

「はたかぜ」は30年以上前の建造のため、操舵輪の真上に未だテレグラフ（船内伝声管）があるのには感動いたしました「面舵一杯！」などの言葉が機関室などへ伝声管に向けて発声されてはじめて艦橋らしさを感じるのは自分だけの時代遅れの認識でしょうか。最近の船には舵輪がジョイスティックに置き換わったものもあり、船らしさを象徴するものが、技術の進歩の陰で一つ一つ消えていくのを見るのは寂しい限りです。

見学後は後部甲板にて全員の記念撮影、近くのレストランで待望の横須賀カレーを食べた後は、会員の山口氏のご自身でつくられた「はたかぜ」のプラモデルをお二人に贈呈。その後、秋山、相樂氏のご案内で付近の記念碑を見学し、さらには希望者のみ軽く喉も潤したりし、帰宅の途につきました。お二人のおかげで横須賀を満喫、楽しい一日を過ごすさせていただきました。厚く御礼を申し上げたいと思います。

最後に、その記念碑のなかに真新しい私の親族正岡子規が詠んだ句碑があり、「横須賀や只帆橋（はんしゅう）の冬木立」をご紹介させて頂きたいと思います。



正岡子規の句碑

ドイツ語講座交流会

新春1月16日(土)受講生・講師・協会役員を交えて交流会がさいか屋8階中国料理「煌蘭」にて開催されました。初めに松野・中川両講師の挨拶のあと森住さんの乾杯で始まり日頃ドイツ語に接している21名の参加者は各円卓で、おいしい食べ物と飲み物で話の花(日本語)が一気に満開となりました、自己紹介ではドイツでの生活、ドイツ語との出会い趣味、と話題も多彩で今回初参加の皆さんも主役にそして皆さんと親しく交流を深めました。

日頃聞くことのできないお話しなど交流も盛り上がり予定の時間は足りないぐらいでした。

講座は16年間の長い歴史の中続いていますがこれからも4講座受講生と講師・協会の支えでますますの発展を誓ってめでたく友好の場となりましたこと、多くの皆様の参加に感謝します。

ドイツ語講座担当理事 鬼久保



奥田公園（藤沢市）の菩提樹

2012年に日独修好150周年記念としてドイツより贈られた菩提樹3本を当協会が、鎌倉川喜多映画記念館、江ノ電江ノ島駅構内、藤沢奥田公園に植樹しました。前者2本は順調に生育しています。

奥田公園の一本は公園の事情で植え替えが行われたものの生育が遅れ市民の方から心配する声が上がリ協会へも連絡が来ています。今回藤沢市からは従来以上に注意して頂けると連絡がありました。皆さんも気を付けて見守って下さい。

編集後記

例会が変化に富んだ内容になっています。より多くの皆様の出席をお待ちしております。湘南日独協会、合唱団アムゼルの創立記念に向けての準備が始まりました。皆さんのご協力をお願いします。
(大久保)